留学生インターンシップin GIFU 成果報告書

【岐阜大学　応用生物科学学部　応用生命科学学科】
【氏名：高翔(コウ ショウ)】
【岐阜経済大学　経営学部　情報メディア学科】
【氏名：ガレ　スクマン】

【受入れ企業：関ヶ原石材株式会社】
【インターン実施期間：2016年９月７日～９月１３日】

この企画に参画した理由　　氏名:高　翔

■このインターンシップに参画した理由は何ですか？

私は学校を卒業したら日本で働くつもりですので、この一年間にずっと就職活動を続けていました。そこで、このインターンシップの情報を知り、このきっかけで日本企業の職場文化、流儀などを近くに自分の目で確認できるいいチャンスと思いまして、応募してきました。
そしてインターンシップによって、日本会社職場の雰囲気、仕事のやりかたなどの知識や礼儀を身に付けて、これからの就職活動に役に立つと考えまして、それをインターンシップの目標として頑張ります。

この企画に参画した理由　　氏名：ガレ　スクマン

■このインターンシップに参画した理由は何ですか？

日本の会社力それで私が学んでいる日本の流通マーケティングそれを実際にして見たいと感動がありました。日本の会社で働く社員の中での自分自身のレベル試してみたいです。今学んでいるマーケティングという知識を実際の現場ではどんな役に立つことができるのか、このインターンシップで知りたいです。学生である自分が、社会人の中ではどのぐらいのレベルで、また、学ぶ知識は社会に通用するものなのか知るため、あと、学校を卒業してからの就活につながるため希望しました。

5日間のインターン報告　DAY 1

AM

サラリーマンらしくスーツを着て目的地に到着、貿易部の社員たちとお互いに興味、特技、出身地、将来やりたいことなどを情報交換しまして、管理部の柿木さんからインターンの流れ、注意事項を説明してくれました。これからの一週間よろしくお願いします！
楽しい雰囲気でいよいよインターンシップの初日がスタート！

PM

貿易部全員が揃って歓迎会を行ってくれました。にぎやかな談笑に包まれているランチタイム！

本社工場と倉庫の見学をしました。原石から製品にする加工技術にひかれていきました。

ざっくりとした会社の概要から業務内容までを紹介してくれまして、会社に対する大体のイメージをつきました。

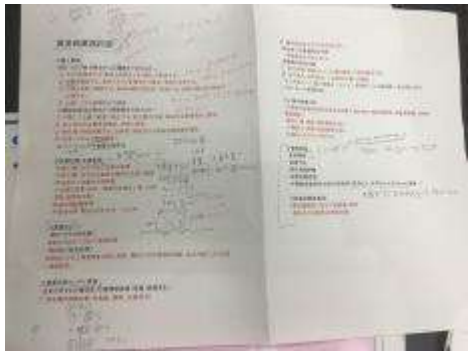
●企業コメント　（担当：　柿木　）

2人とも会社が自宅から遠いため通勤が少し心配でしたが、指定の時間に遅れることもなくきちんと来てくれました。初日は説明を受ける時間が長くありましたが、集中を切らすことなく、きちんと聞いて理解してくれました。

5日間のインターン報告　DAY 2

AM

インターンの本番、貿易部業務内容の説明が始まりました。基礎の貿易知識から一々解説してくれました。興味津々！



一日でも足りない内容を細かくまで項目で陳列したプリント講義に、夢中になっていつの間にびっしりとノートを書きました。

PM

午前中に教えてくれた原石の検品方法を現場で実践してみます。二回目の工場見学ですが、もっと奥深い味を味わいました。

展覧室で様々な石材製品を見回りして、原石と製品のギャップによって石加工技術の魅力を感じました。

●企業コメント　（担当：　柿木　）

この日は貿易部の詳しい業務内容や貿易実務の基礎知識を学びました。2人とも流通に関する知識や興味が深いためスムーズに理解することができたようです。途中落雷によって事務所が停電するというトラブルがありましたが、落ち着いてプログラムをこなしていただきました。

5日間のインターン報告　DAY 3

AM

昨日の内容を続け、会社の売り上げと直接つながっている見積もりについて説明してくれました。専門知識大勉強！

再び展覧室で現場の石材を組み立てる工法を紹介してくれました。職人の技術力と繊細さを体験しました。

PM

貿易部業務の操作中に行うトラブル及びその解決方法を説明してくれました。講師は中国出身の留学生大先輩のオウさんです。
オウさんは自分が経験した実際のトラブル案をテストの形で私たちに質問しまして、まるで生き生きのトラブルを私たちに自分の考えで解決方法を提出して見せました。
トラブルを取り込み中の緊張感こそ、解決する時の達成感が最高になるのです。

●企業コメント　（担当：　柿木　）

前日よりも深い内容となり、最初は理解が追いつかない部分もあったようですが、飲み込みが早くすぐに対応することができました。トラブル対応のケーススタディでは、自分の意見をはっきりと、かつ論理的に述べることができていて感心しました。

5日間のインターン報告　DAY 4

AM

名古屋営業部の牧野さんと工事現場を見学しました。今まで勉強した石材知識と見た製品が現場で本当の壁や床などにならないと意味がないと思って、現場のきつい環境で働いてる職人さんと工事部、営業部の社員さんに尊敬します。

PM

名古屋市内で関ヶ原石材が提供する製品を使って建築した建物を見回りしました。場所により違う石材の使い方、石材柄の一致を追求するなどのこだわりを自分の目で確認し、理解しました。
工場現場の乱雑さと、仕上した建物の雅やかの格差を感じて、陰でこの社会を支える事業をやっている人々を感謝する気持ちを生み出しました。

●企業コメント　（担当：　柿木　）

建築現場を見学することによって、一つの建物を完成させることの難しさや面白さを実感していただけたようです。現場・現物・現実に向き合うことの大切さにも気づくきっかけになったようです。

5日間のインターン報告　DAY 5

AM

最後の発表会のスライドについて相談しながら作成する風景。

ポスターに使う写真を取材するため展覧室に尋ねる。

PM

送別会で楽しく雑談する風景。

発表会の風景。

●企業コメント　　（担当：　柿木　　）

限られた時間の中で成果報告書をきちんと完成させることができたことは立派です。発表会では少し緊張した様子でしたが、よい経験ができたのではないでしょうか。5日間お疲れさまでした。

この会社の魅力（ベスト3）

1. 関ヶ原石材株式会社は建築石材業界最大の企業グループで、原石の輸入から、製造・販売・設計施工までを手掛け、業界トップの位置を付けているとは強みと感じました。

2. 全国最大級の石工場を持ち、原石から製品までの加工全般を工場内で行うことができる。工芸、倣いを含めて、全面的な技術力という高い専門性はもう一つの強みと思います。

3. 海外に拠点及び駐在員を設置、購買、加工、運輸などが海外工場と連携して国内の石工事をサポートしています。こういう国際に事業を展開するグローバル化にも強みと考えています。

この会社を海外（自分の母国）にPRするポスターをデザインしてください

コンセプト：上記のポスターであなたが伝えたかったことを補足してください。

石は地球の一部から建物になって、人類の文明の一部になりそういう流れを表現したい。
それぞれ山、採掘現場、原石倉庫、加工の風景の順番で並べて、そこで石から創り出したいろいろな製品の写真をリストアップという形で石のロマンを表現してみました。

関ヶ原石材株式会社の
インターンシッププログラムについて

■今回の実施業務内容

会社の概要、業務内容の紹介。
工場、展覧室及び工事現場の見学。
貿易事務について専門知識の説明。
貿易部の仕事内容をリストアップし、実際の件でトラブル対応の模擬。

■改善提案

実際の仕事を邪魔するかもしれないが、できれば貿易部の実際操作現場を見学させてほしいです。
インターンシップに対する、実習の時間帯をもっと伸ばして、またはもっと多い選択肢をしていただいたら嬉しいと思います。

改善ポイントとその根拠・理由

インターンシップ受講の感想

氏名　高　翔

初めての日本企業のインターンシップは終わるところです。五日間にいろいろなことを学びまして、心から感謝の気持ちを感じました。
初日にワクワクで地図によって会社を辿りついて、まずはその広さと入口を驚きました。そのあとの会社紹介、業務内容の説明、特に工場現場の見学が、石材についてまったく分からない私にとして、まるで別世界に入り込んだと思いました。
次々社員さんから教えてくれた石に関する基本知識、貿易についての条件、設計図、見積り書、発注書、トラブル対応及び工事現場で見せた職人さんの技による、建築石材業の風景がだんだん私の目の前に広げていました。
石というイメージは昔から固いと冷たいしかないですが、技術で幅広いしかも綺麗な製品が出来上がることは今まで考えたことがなかった。今回のインターンシップによって建築石材の魅力を感じました。
そこで、建築石材業に石材の柄、磨く技術、加工方法などのこだわりを見て、石材に対する熱意を感じまして、感動しました。

インターンシップ受講の感想

氏名　　ガレ　スクマン

初めてのインターンシップですが、この一週間あっという間に時間だった。石の世界または社会人とのコミュニケーション取ることなかったです。大学のマーケティングの授業では作ったものを売れるではなく売れるものを作る、主にマーケティングの４ｐ（製品（ｐｒｏｄｕｃｔ）価格（ｐｒｉｃｅ）プロモション（ｐｒｏｍｏｔｉｏｎ）流通チャネル（ｐｌａｃｅ）とグローバルマーケティングを対して勉強しましたが、大学で学んだことと実際学んだことの違いがはっきり分かり、勉強したものを現場に立って失敗をしながら、失敗をしたところを身に付けること、それからの変化、あと、貿易とはある国との間で行われる商品の売買、商品の送り、出す、取引を輸入、輸出だけでなくその中の見積もり、為替、トラブルの条件が勉強になりました。今まで学んだこと、知識を活かして自分なりのレベルアップ、成長、それから社会に出た後に活躍していきたいと考えます。